

令和4年度公民館事業

(参考資料)

山形市教育委員会
社会教育青少年課

公民館事業の実施状況

(1) 社会的要請学習



輪番により各公民館が毎年テーマに沿った講座を実施。身近な公民館で様々な学びを得られる機会を創出しています。

No	学習テーマ	R4担当
①	ICT「 役立つICT活用術 」	全公民館
②	ライフデザイン「 自分らしく 今を楽しむ 生活術 」	中央 西部
③	環境・エネルギー「 行って見て聴いて実践エコライフ 」	東部 元木
④	健康づくり「 わたしと家族の健康生活 」	南部 江南
⑤	防災・防犯「 防災・防犯テクニック術 」	北部 霞城
⑥	若者支援 「 リア塾 」	社会教育青少年課 全公民館
⑦	子ども支援「 体験子ども教室 」	社会教育青少年課 全公民館

前年度比較

	R3	R4	比較
事業数	33	44	11
回数	95	139	44
参加者数	1,390	2056	666

令和4年度は、令和3年度に比べ、新型コロナウイルス感染症対策による制約が少なくなり、より多くの事業を実施することができました。また、多くの市民の皆様に参加していただくことができました。

◆社会的要請学習の実施状況

①ICT「役立つICT活用術」(全公民館)

ねらい

パソコン操作及びスマートフォン等のICT機器の基礎的な操作や活用方法を学び、学んだ技術を生かし、日常生活を豊かにしていくことができるようにする。

事業名	実施主催	講座回数	参加者数
スマートフォン講座	中央	4	63
成人パソコン講座	中央	24	283
高齢者パソコン講座	中央	24	290
スマートフォンの楽しい使い方	東部	3	36
意外と簡単！スマホ活用術	西部	3	23
スマートフォン基礎講座	南部	3	43
かんたん！スマートフォン教室	北部	3	28
はじめてのスマートフォン講座	江南	3	24
スマートフォン活用講座	霞城	3	52
スマートフォン初心者講座	元木	1	12
スマートフォン講座(メール・カメラ編)	元木	1	12
スマートフォン講座(インターネット・マップ編)	元木	1	12

②ライフデザイン「自分らしく 今を楽しむ 生活術」(中央・西部)

ねらい

生涯にわたって充実した人生を送るために必要なライフデザインのスキルや自分らしく、日常生活を充実させる生活術を学ぶ。

事業名	講座回数	参加者数
MY定期講座 わたしと家族の「そうぞく」講座	2	35
自分でも書ける遺言書の作成のすすめ	1	24
収納整理講座	1	29
MY定期講座 将来に備えて終活講座	3	54

③環境・エネルギー「行って見て聴いて実践エコライフ」 (東部・元木)

ねらい

環境保全や循環型社会について身近な所から実践する取り組みを学んだり、地域の豊かな自然と直接触れ合う体験をしたりすることを通して、環境と生活への関心を高める。

事業名	講座回数	参加者数
親子リサイクル工作教室	1	13
エコ施設見学会	1	7
環境講座	1	6
ゴミ減量・リサイクル講座	1	11
リサイクル工作教室	1	7
食品ロス講座	1	14

④健康づくり「わたしの家族の健康生活」(南部・江南)

ねらい

心身の健康増進や病気・けがの予防の他、認知症を含む高齢者の病気への理解や、現代的な健康課題の解決について学ぶ。市が推進する「すくすく(SUKSUK)生活促進事業」とも連携し、健康増進を推進していく。

事業名	講座回数	参加者数
脂質異常を改善する食生活	1	26
肩こり・腰痛改善講座	1	23
南部軽運動部	1	20
MY定期講座「睡眠」と「健康」の知恵袋講座	2	31
スローエアロビックで健康に	1	15

⑤防災・防犯「防災・防犯テクニク術」(北部・霞城)

ねらい

災害発生の原因や社会と地域の災害対策の実態や災害への備え、実践的な対処の仕方等を学ぶとともに、様々な犯罪事例を知り、身の守り方を学ぶことにより、市民の防災・防犯意識の向上を図る。

事業名	講座回数	参加者数
MY定期講座 今から取り組もう！防災講座	3	42
「市民防災センター」 防災体験見学会	1	12
災害から身を守る天気図の見方	1	18
防災再確認講座	1	18
災害食クッキング教室	1	6

⑥若者支援事業「リア塾」

ねらい

若者が、様々な講座を連続して体験することで、学び・体験・交流により「仲間」「楽しみ」「自信」を充実させ、「自分力」を高めるとともに、「地域づくりに参画する人材の育成」をめざす。

事業名	申込者数	参加者数
第10期リア塾★スタート	12人	12人
実践！今すぐできる！伝わるコミュニケーション術		9人
Let'sスポーツ①Enjoy キンボール♪		8人
人生100年時代に備える～マネープラン講座～		9人
Let'sスポーツ①Enjoy モルック♪		8人
秋の夜長に・・・座禅&写経体験		8人
山形人なら一度はやりたい！蕎麦打ち体験		9人
リア塾FINAL～お正月は間近！しめ飾り制作講座～		6人

⑦子ども支援事業「体験子ども教室」

ねらい

週末や長期休業中に文化活動やスポーツ、地域の方との交流やボランティアを活用した学習支援など、豊かな体験や学習の機会を提供することで、子どもの自立性や社会性を育む。

【体験子ども教室5つのねらい】

①伝統文化 ②表現 ③体力・健康 ④ものづくり ⑤探究

事業名	実施主催	講座回数	参加者数
茶道教室	東部	3	29
わくわくどきどき ~ 子ども絵画教室 ~	西部	2	23
スポーツチャンバラ教室	南部	3	30
子ども体験絵画教室	北部	2	28
電波教室	江南	1	36
お菓子づくり教室	霞城	2	28
こどもダンス教室	元木	3	76
ふれあい広場ビッキの会	社会教育 青少年課	5	76
子ども学習会		5	265
山形市子ども将棋教室		2	48
山形市体験子ども教室		4	59

◆社会的要請学習

◆実績

	R3	R4	比較
事業数	33	44	11
回数	95	139	44
参加者数	1390	2056	666

◆事業評価

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に小さくなったことで、多くの事業を実施でき、それに伴い住民の方々の参加も増加した。
 - ➡コロナ禍を経たことを踏まえ、改めて市民の学習ニーズを注視し、より積極的に学習機会の創出を行っていくことが求められる
- ・ICT事業において、多くの講座で高い評価を得られた一方で、一部の事業では参加者の技能の習得にうまく繋がられない状況にあった。
 - ➡参加者が技能や知識を習得するために必要な事業環境の整備が課題として挙げられる

(2) 地域づくり学習

地域の課題や実情を踏まえ、子どもから高齢者までそれぞれのライフステージに対応した学習機会や、世代間交流による地域住民の連帯感を高める機会を提供する

◆ 地域住民相互の ふれあい交流事業

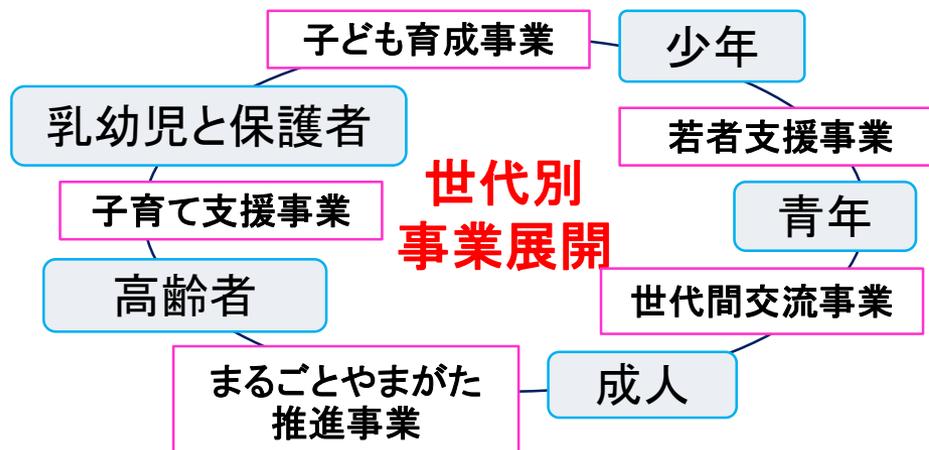
(公民館企画型)

- ・より身近なテーマで親しみやすい事業を企画
- ・多くの地域住民が集い、世代間交流を促進する機会の創出

◆ 地域と共に考える まちづくり事業

(地域共同企画型)

- ・地域の課題を共有し、地域団体と共同して学習プログラムを構築
- ・事業実施後、課題と成果を共有し次年度事業につなげていく



【例】

- ・地区社会福祉協議会や地域包括センターとの共同での「100歳体操」「認知症予防教室」「健康講座」等
- ・町内会と共同での「救命救急講座」
- ・公民館利用者団体連絡協議会と共同での「介護勉強会」

……等々

◆地域住民相互のふれあい交流事業(公民館企画型)の実施状況

子育て支援事業

	R3	R4	比較
事業数	7	10	3
講座回数	10	12	2
参加者数	164	212	48

ヨガ教室、絵本や絵画の読み聞かせ、みそ作りなどを親子で一緒に体験してもらい、親子の絆を深めるきっかけにすることができた。また、参加者どうしの交流を図り、悩みや不安をひとりで抱え込まないような環境づくりに取り組んだ。

子ども育成事業

	R3	R4	比較
事業数	22	25	3
講座回数	45	58	13
参加者数	884	1105	221

料理や科学実験、野外学習など、子どもたちに実際に体験してもらった事業を数多く実施した。多様な経験を通じて、子どもたちの心身の健全な育成を図った。また、異なる学年や学校の子どもたちが交流することで、より広いコミュニティ形成につながるような事業を提供した。

若者支援事業

	R3	R4	比較
事業数	7	7	0
講座回数	8	10	2
参加者数	85	147	62

運動不足になりがちな現代の若者に様々な形で体を動かす機会を提供した。また、スパイスに関する講座は令和3年度に引き続き好評であり、受講者の興味を引き出すことに貢献している。

一方で、参加者を十分に募ることができない事業もあり、若者の興味を引くような事業や若者の目を引くような告知手段に改良していく必要がある。

まるごとやまがた事業

	R3	R4	比較
事業数	20	22	2
講座回数	31	34	3
参加者数	538	631	93

歴史や文化などの観点から郷土の理解を深める事業を実施した。講義のみならず市内散策や料理・陶芸といった体験を通して、多角的な理解につながるような工夫をした。

その他事業(成人・高齢者等対象)

成人対象事業では、睡眠や相続といったこれからの人生で活用できる知識を習得するためのものや、コーヒーや紅茶についての講座といった人生を豊かにするためのものなど、多様な事業を行った。

高齢者対象事業では、主に健康で長生きするための学習や運動の機会を提供した。

	R3	R4	比較
事業数	44	52	8
講座回数	116	164	48
参加者数	2742	7023	4281

中央公民館 ホール・ギャラリー事業

中心市街地の賑わい活性化につながる事業として、企画・実行している。

令和4年度は令和3年度に引き続き、第一地区町づくり振興協議会と共催して、第一地区の住民・小学校児童・幼稚園児の作品を展示する「第一地区 趣味の作品展」を実施した。また、令和3年度において、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を中止した「おもしろマジックショー」や「陸上自衛隊第六音楽隊 くるるコンサート」を実施することができ、参加者からも非常に好評だった。

事業内容	参加者数
第一地区「趣味の作品展」	1079人
七日町商店街タイアップ【アニメ上映会】	182人
おもしろマジックショー2022	338人
中央公民館サークル作品展示会	180人
陸上自衛隊第六音楽隊 くるるコンサート	490人
ピアノ弾き比べ体験講座	8人

◆地域と共に考えるまちづくり事業(地域共同企画型)の実施状況

地域と共に考えるまちづくり

地域が抱える課題に着目し、各地区の町内会や社会福祉協議会、地域包括支援センター等と共催し、事業を実施した。

多くの公民館が健康のための体操や防災講座を実施したほか、成人対象の歴史を学ぶための地域散策なども行っている。

	R3	R4	比較
事業数	12	18	6
講座回数	122	162	40
参加者数	2214	2981	767

◆地域づくり学習

◆実績

	R3	R4	比較
事業数	116	140	24
回数	338	453	115
参加者数	7760	14376	6616

◆事業評価

- ・多くの事業において、「内容満足度」が高評価であり、ある程度市民のニーズに合致した事業を実施出来ていると考えられる。一方で、参加率が芳しくない事業も一定数存在する。
 - ➡市民のニーズをより正確に把握することと効果的な周知手段を追求することが今後の課題として挙げられる
- ・新型コロナウイルス感染症対策による制約が小さくなり、より多くの市民が公民館事業に参加するようになった。
 - ➡市民の事業参加への意欲や学びたいという思いを絶やさないような工夫をすることが求められる